

 市場価格

ドル建て ドル/toz

Platinum	Price	Date
Open	915.00	2024/1/29
High	932.78	2024/2/1
Low	888.80	2024/2/2
Close	890.66	2024/2/2

円建て 円/グラム

Platinum	Price	Date
Open	4379.00	2024/1/29
High	4422.00	2024/1/30
Low	4265.00	2024/2/1
Close	4272.00	2024/2/2

ドル建て ドル/toz

Palladium	Price	Date
Open	956.00	2024/1/29
High	996.29	2024/2/1
Low	931.70	2024/2/2
Close	950.12	2024/2/2

円建て 円/グラム

Palladium	Price	Date
Open	4568.00	2024/1/29
High	4710.00	2024/1/30
Low	4445.00	2024/2/2
Close	4531.00	2024/2/2

 ニュースエクスプレス

電気めっき用の純プラチナ電解質

Umicore Metal Deposition Solutions は電気めっきに使うプラチナの電解質、Platuna PT を開発した。非常に厚みがあり均一で割れにくいプラチナの被膜が可能になり、様々な機械部品への利用が期待される。

Platuna PT 電解質は同社が何年も研究開発していた製品で、酸性度が高いが腐食をあまり含まないため、めっきを指す製品にあまり影響を与えない。さらに電流の強さに関係なくメッキのスピードは 5 アンペア/デジメートル² で約 0.13 ミクロン/分。従来のプラチナ電解質と違って不純物を含まないために耐久寿命が非常に長く、また冷却が不要であることから運送と保管が容易で大量保管も可能となるため、長期的にはコスト削減になる。

<https://www.pfonline.com/products/electrolyte-for-electroplating-with-pure-platinum>

クロム価格の上昇、南アのプラチナ供給を支える

小規模 PGM 生産の Eastplats は東週、ブッシュフェルトの西リムにあるクロコダイルリバー鉱山の地下 PGM 鉱山の採掘を開始すると発表した。この鉱山での生産は PGM 価格に非常に敏感だったが、昨今はクロム価格が過去の水準を大きく上回っていることで鉱山会社の収益が支えられているため採掘開始が可能となった。PGM 以外の鉱石の副産物でも南アフリカの鉱山業にとって重要であることがわかる。今後クロム価格が大幅に下がれば、プラチナ鉱山の閉鎖が早まる可能性もある。PGM 生産会社は昨年末の生産高を今年2月終わりと3月初めに公表するが、更なるコスト削減が求められており、2024年の生産を前年生産会社もあるかもしれない。南アフリカのプラチナ生産は、2015年は140トンあったが、2016年～2017年にPGM 価格が下がり、主に中規模の鉱山で約10.9トンの減産となったが、減産がプラチナ価格を押し上げた一面もある。今年のプラチナ生産は124.4トンを下回る可能性。

https://www.heralds.com/meda/media/pgm/dcc_hgm/precious_metal_update/en_6/Appraisal_20240129.pdf#mduytrtd=402w1020h1w2652u4k18YK0uqjLuyyqj6L2WpE3

ロイターのアンケート-プラチナは供給不足で価格上昇でパラジウムに迫る予測

1月29日付のロイターが実施したアンケートによると、アナリストやトレーダーの2024年のプラチナとパラジウムの予想価格は、需要の大幅低下を受けて下がったが、今の水準よりは回復するとしている。

<https://www.nasdaq.com/articles/poll-platinum-will-edge-higher-amid-deficit-on-track-for-parity-with-palladium>

Translated by Kazuko OSAWA

田中貴金属工業が、真空成膜装置部材に付着した貴金属の新たな回収方法を確立

田中貴金属グループの中核企業として産業用貴金属事業を展開する田中貴金属工業株式会社は、治具洗浄法「TANAKA Green Shield」を確立したことを発表した。

本洗浄法は、半導体の製造工程などで使用される真空成膜装置部材の防着板に、ニッケルめっき加工を施すことが特長である。ニッケルめっき加工された防着板は、容易にプラチナやパラジウムなどのPGMスパッタ膜の剥離を行うことが可能となる。

https://tanaka-preciousmetals.com/ja/news_release/20240123/

 WPIC直近の活動

今年1月23日に共有したプラチナ豆知識—様々なプラチナ投資に関連し、WPICによるインフォグラフィックスの和訳が用意できた。ホームページに掲載される予定であるが、当該インフォグラフィックスでは現物所有やETF等様々な形のプラチナ投資をわかりやすい図解を使って紹介している。詳細は添付およびホームページをご覧ください。

<https://platinuminvestment.com/invest/graphic>

パラジウムの代わりにプラチナを自動車触媒に使った代替需要は、2023 年は 19.3トンと推定されているが、2024 年には 21.8 トンに達する予測だ。我々の分析によると、この代替の逆（プラチナの代わりにパラジウム）には経済的な利点がない上にリスクも伴い、たとえ起こるとしても、それが広がるスピードは遅いと思われる。従って中期的な視点から見たプラチナの代替需要は、今の自動車需要の中にほぼ組み込まれていると考えて良いだろう。詳細は**プラチナ展望—2024年1月号**をご覧ください。

<https://platinuminvestment.com/investment-research/perspectives>

韓国政府は昨年末、第6回目となる Hydrogen Economy Committee 会議を開催し、クリーンな水素エコシステムへの転換と水素産業の育成に向けた主要政策を発表した。ネットゼロに向けた韓国の水素技術への取り組みはプラチナ需要には朗報である。詳細は**プラチナ豆知識—韓国の水素開発**をご覧ください。

<https://platinuminvestment.com/about/60-seconds-in-platinum>

